

—— 本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号 ——

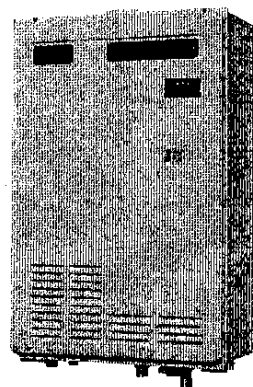
大阪支社 ☎550 大阪市西区千代崎3-2-95 ☎大阪06(586)3200
南部支社 ☎590 堺市住吉橋町2-2-19 ☎堺0722(38)1131
北部支社 ☎569 高槻市藤の里町39-6 ☎高槻0726(71)0361
東部支社 ☎578 東大阪市福栄2-3-17 ☎河内0729(62)1131
兵庫支社 ☎650 神戸市中央区東川崎町1-8-2 ☎神戸078(360)3100
京都支社 ☎604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358 ☎京都075(231)8151
奈良支社 ☎631 奈良市学園北2-4-1 ☎奈良0742(44)1111
和歌山支社 ☎640 和歌山市本町1-5 ☎和歌山0734(31)2481
兵庫西支社 ☎670 姫路市神屋町4-8 ☎姫路0792(85)2221
豊岡支社 ☎668 豊岡市三坂町6-57 ☎豊岡0796(23)2221
湖南支社 ☎525 草津市追分町字荒畑680-1 ☎草津0775(62)5311
彦根支社 ☎522 彦根市大東町12-11 ☎彦根0749(22)3131
(長浜営業所) ☎526 長浜市南呉服町3-4 ☎長浜0749(62)7171
本社・ガスビルサービスセンター ☎541 大阪市中央区平野町4-1-2 ☎大阪06(202)2221

大阪ガス株式会社

ガス給湯暖房機 エックスMARKII

44-905/906/907/908/909型

型式 AD-362RFA-L
AD-362RFA-L-C
AD-362RFA-L-D
AD-362RFA-L-E
AD-362FFA-L



取扱説明書 (保証書付)

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。

 大阪ガス

ごあいさつ

このたびは、大阪ガス給湯暖房システム〈エックスMARKII〉を、お買い上げいただきまして、ありがとうございました。別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

●特長・機能の紹介.....	1
●必ずお守りください.....	2
●各部のなまえと扱いかた.....	5
●初めてお使いいただくときに.....	7
●使用方法.....	8
●凍結予防のしかた.....	13
●点検・お手入れ.....	15
●故障かな?と思ったら.....	17
●仕様.....	20
●保管とアフターサービス.....	23

特長・機能の紹介

●給湯能力24号のビッグパワーで2ヵ所同時使用でもたっぷり出湯

マイコンによる電子コントロール・水量比例制御機構で、すぐに希望の湯温になりしかも安定した湯温が得られます。

●給湯・暖房が同時で使える2缶2水路方式

●暖房水の自動補給機能付

暖房水が蒸発などにより少なくなりますと、自動的に補給され手間いらず。

●快適暖房

室温安定時は、自動変温システム(AVT制御)の働きにより、お部屋の温度に応じた暖房水温度で運転します。

暖房は温水利用で、お部屋の空気を汚しません。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。

●使用ガス・使用電源についてのご注意

●ガスの種類を確かめてください。

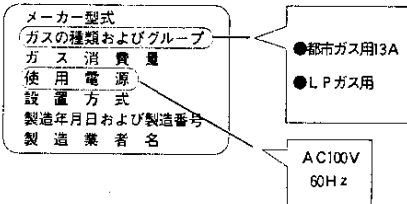
正面右下部に貼ってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかを必ず確かめてください。

●ガスの種類には、都市ガスとL Pガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。

●電源の電圧と周波数を確かめてください。

銘板に表示してある電源(電圧・周波数)とお宅の電源と周波数が一致しているか確かめてください。

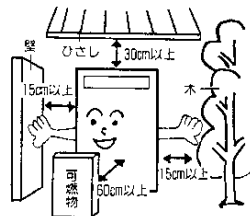
●転宅されたときにも、ガスと電源を必ず確かめてください。



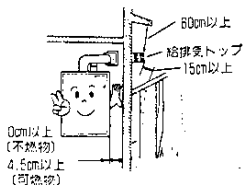
●火災予防のために

■壁や可燃物から十分離れている場所で!

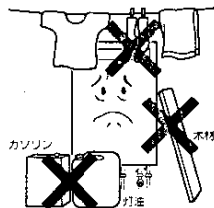
〈屋外設置〉



〈屋内設置〉



■熱源機の近くに燃えやすいものを置かない!



●ガス事故防止のために

■燃焼状態の確認

点火、消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを、本体またはリモコン(別売品)の燃焼表示で確認してください。

■万が一ガスが漏れたときは

すべての処置がおわるまでの間、

- 火をつけない。
- 電気器具のスイッチの“入・切”をしない。
- 電源プラグの抜き差しをしない。



■ガス漏れに気づいたとき

すぐに使用をやめ、給水元栓とガス元栓を閉じ、お買い上げの販売店、またはお近くの大阪ガス支社に連絡してください。



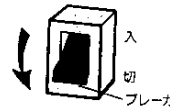
●使用上の注意

■給湯は

台所・シャワー・洗面など給湯以外には使用しないでください。

■はげしい雷のときは

使用を中止し分電盤のブレーカを切ってください。

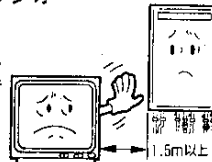


■市販の補助用具は

この熱源機の付属品・補助用具以外は使用しないでください。

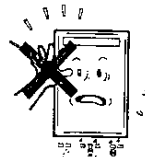
■テレビやラジオとは離す

電波の乱れによる映像の乱れや雑音の防止のため。



■火傷にご注意

使用中や消火直後は、排気口が高温のため絶対に手をふれないでください。



■飲用にお使いのとき

器内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。



必ずお守りください

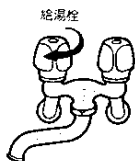
●凍結にご注意

冬期は暖かい地方でも急な寒波のため、熱源機内の水が凍り熱源機が破損することがあります。
(P13・14参照)

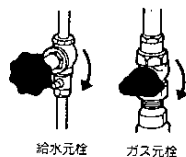
●異常時の処置は

異常燃焼、臭気、異常音などを感じたときや、地震、火災のときはあわてず次の処置をし、お買い上げの販売店またはお近くの大阪ガス支社にご連絡してください。

1 給湯栓を閉める



2 給水元栓とガス元栓を閉める



3 お買い上げの販売店または大阪ガス支社へ

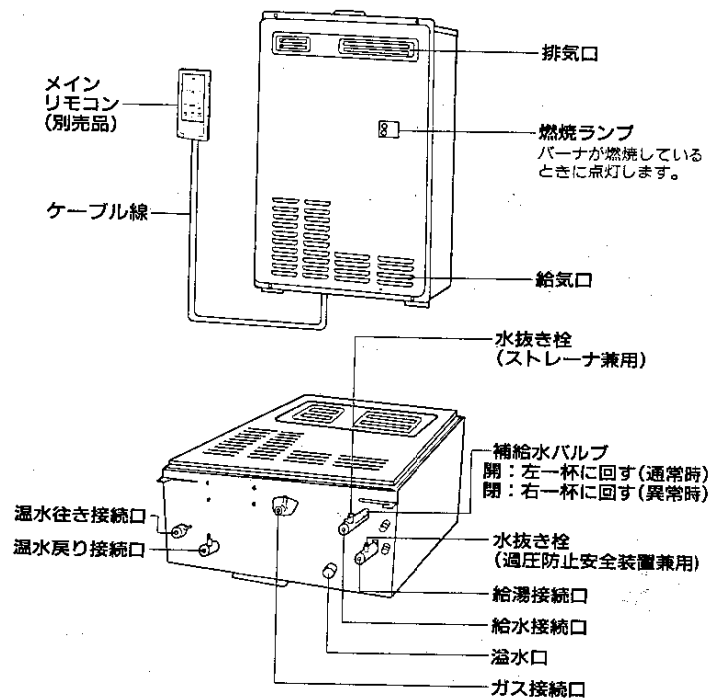


●停電がおこったら

- 停電の時は、給湯栓を閉めてください。
- 暖房運転時は、すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。

各部のなまえと扱いかた

●外観・構造



屋外設置・PS標準設置型以外に下記の種類があります。

	品番	型式名
屋内設置型	44-909型	AD-362FFA-L
扉内設置型	44-906型	AD-362RFA-L-C
前方排気延長型	44-907型	AD-362RFA-L-D
後方排気延長型	44-908型	AD-362RFA-L-E

必ずお守りください／各部のなまえと扱いかた

各部のなまえと扱いかた

●メインリモコン(別売品) ●下記画面表示は説明のため全部表示したものです。実際の運転のときは、該当部分が表示されます。

優先表示
表示しているリモコンで給湯の温度調節ができます。

給湯温度表示
給湯の設定温度を表示します。

給湯燃焼表示
給湯用のバーナが燃焼しているときに表示します。

時刻表示
現在時刻を表示します。

エラーコード表示
熱源機に異常があったとき、エラーコード表示に変わります。(P18)

暖房運転表示
暖房運転時に表示します。

暖房燃焼表示
暖房用のバーナが燃焼しているときに表示します。

給湯温度切替スイッチ
給湯・シャワーでお使いになる温度に設定します。(P9)

給湯スイッチ・ランプ
ご使用になるときに「入」にします。点火・消火は給湯栓の開閉で行なってください。給湯スイッチを押すとランプが点灯します。

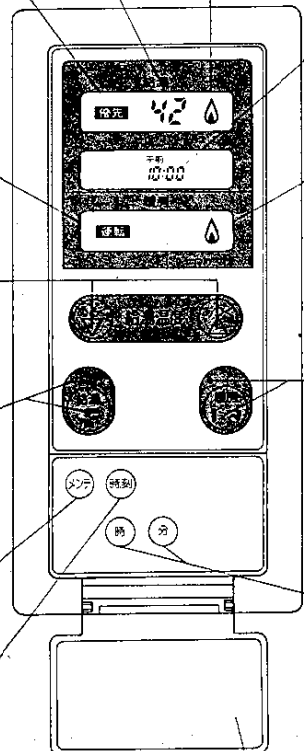
暖房スイッチ・ランプ
ご使用になるときに「入」にします。マルチコントロールシステムを取り付けている場合は、このスイッチを「切」で使用してください。暖房スイッチを押すとランプが点灯します。

メンテスイッチ
過去のエラー表示を確認するスイッチです。(P18)

「時」「分」スイッチ
現在時刻を合わせるスイッチです。(P10)

時刻設定スイッチ
現在時刻を設定するスイッチです。(P10)

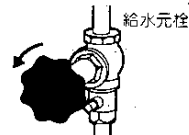
操作カバー



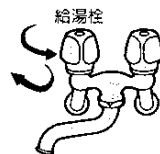
初めてお使いいただくときに

●ご使用前の準備と確認

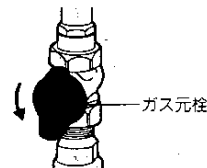
① 給水元栓を全開にする



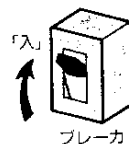
② 給湯栓を開け、水の出ることを確認し閉める



③ ガス元栓を全開にする



④ 熱源機用のブレーカを「入」にする



各部のなまえと扱いかた／初めてお使いいただくときに

使用方法 給湯のしかた

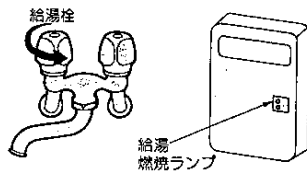
(別売のメインリモコン接続の場合)

点火・給湯

① 給湯栓を開ける

(給湯燃焼ランプが点灯し、お湯が出る)

- 燃焼ランプが消えお湯にならない場合一度給湯栓を開め、しばらく待った後、開栓してください。



湯温調節

② 給湯栓・給水栓で湯温調節をする

適切な湯温になるまで、徐々に開いて調節してください。

- 給湯栓を絞すぎた場合(約2ℓ/分以下)バーナの火は消えるようになっています。
- この器具は定温出湯タイプ(約60℃)です。必ず混合水栓でご使用ください。



消火

③ 給湯栓・給水栓を閉める

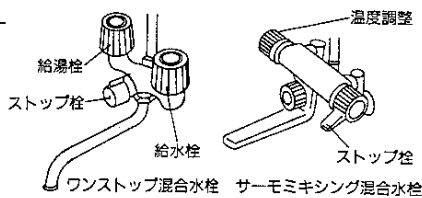
(バーナが消火し、給湯燃焼ランプが消える)

- ワンストップ混合水栓やサーモミキシング混合水栓をご使用の場合ストップ栓を閉めると消火します。
- 燃焼用送風機は、バーナ消火後約5分で停止します。(再使用時の点火をより早くするため)



右図の混合水栓をおすすめします

ストップ栓を開くだけでセッされた温度のお湯が出てきます。



① 給湯スイッチを押す

給湯ランプが点灯し、リモコンに「優先」が表示されます。

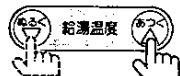


- 給湯温度は、前回設定の温度を表示します。
- 前回設定の温度が「75」の場合は、安全のため「42」が点灯します。

② 給湯温度切替スイッチを押して温度を調節する

- 必ず「優先」表示を確認してから温度の調節をします。
- 優先表示がされてないリモコンでは温度調節できません。

- 温度切替は約38℃～約47℃の間及び約60℃、約75℃で調節できます。
- 給湯温度切替スイッチを押し続けると、連続的に変わります。「60」から「75」は押しなおします。
- 温度設定が「75」の場合、プザーでお知らせします。



③ 給湯栓を開ける

- 給湯側の「△」が表示し、お湯が出ます。
- エラーコード表示「11」が表示している場合は、一度給湯栓を開め、しばらく待った後、開栓します。



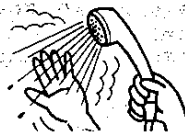
④ 給湯栓を閉める

- バーナが消火し、給湯側の「△」が消えます。

燃焼用送風機は、バーナ消火後約5分で停止します。

ご注意

- 停電または、電源を「入」「切」したあとに給湯スイッチを入れると温度設定は「42」になります。
- シャワーを使用するときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確かめてからお使いください。
- 夏期など水温が高く、「給湯温度切替スイッチ」を「38」～「43」にセッしても熱い場合、湯量を多く出してお使いください。
- 給湯栓を絞すぎた場合(約2ℓ/分以下)、バーナの火は消えるようになっています。



現在時刻の合わせかた

使用方法 (別売のメインリモコン接続の場合)

- メインリモコンの操作カバーを開けて行ってください。
- 電源が「入」の状態では「0 00」が点滅します。
- 停電後の再通电後も「0 00」が点滅します。
- 各スイッチの「入」「切」に関係なくセットできます。

1 時刻スイッチを押す

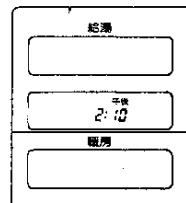
「午前 12:00」が点滅します。



2 現在時刻を合わせ

(例：現在時刻が、午後2時10分の場合)

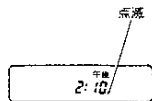
「時」スイッチを押して「午後 2:00」にします。次に「分」スイッチを押して「午後 2:10」にします。



●「時」、「分」スイッチは、一度押すと各々1時間、1分ずつ変わります。押しつづけると連続して表示が変わります。

3 時刻スイッチを押す

- 時刻表示が点滅から点灯に変わり、時計が動きはじめます。
- 時刻表示の右下の「●」が点滅します。



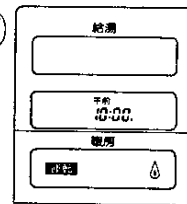
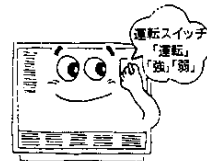
暖房のしかた

使用方法

運転 (マルチコントロールシステムの場合)

メインリモコン(別売品)がある場合は、その暖房スイッチは「切」のまま使用してください。

1 放熱器の運転スイッチを入れる

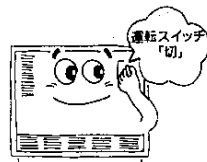


熱源機の暖房燃焼ランプが点灯し、メインリモコンの「運転」と「△」が表示され暖房運転を始めます。

- 燃焼ランプが消えたままで暖かにならない場合や、メインリモコンのエラーコード表示「113」が表示している場合、すべての放熱器をいったん「切」にし、しばらく待ってから放熱器を「入」にしてください。

停止

2 放熱器の運転スイッチを切る



熱源機の暖房燃焼ランプおよびメインリモコンの「運転」と「△」が消えます。

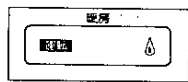
- 運転スイッチはゆっくりと操作してください。急に「切」にすると「コトン」という音があることがあります。


使用方法 暖房のしかた

運 転

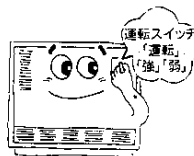
別売のメインリモコンが接続され
マルチコントロールシステムでない場合

① メインリモコンの 暖房スイッチを 入れる



- 暖房ランプが点灯し、「運転」と「

② 放熱器の 運転スイッチを 入れる




- しばらくしてファンが回り暖かい空気が出てきます。

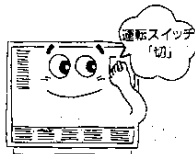
停 止

③ メインリモコンの 暖房スイッチを 押し



- 暖房ランプが消灯し、「運転」と「

④ 放熱器の 運転スイッチを 切る



凍結予防のしかた 〔暖かい地域でご利用のお客様も 必ずお読みください。〕

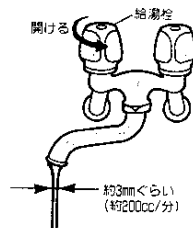
- 凍結すると熱源機が故障したり配管が破損する恐れがあります。(有償)
- 外気温が0℃近くになると凍結予防ヒータや暖房循環ポンプが作動して凍結予防を行います。
絶対に分電盤のブレーカを切らないでください。

給 湯

外気温が極端に低くなりますと、凍結予防ヒータだけでは不十分です。
このような場合は、次の方法を行ってください。

方法1. 給湯栓から水を流す

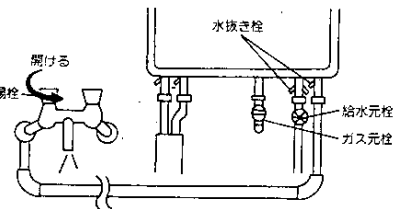
- 1 ガスの元栓を閉める。
- 2 メインリモコン(別売品)がある場合は、
給湯スイッチを切る。
- 3 給湯栓を開ける。



方法2. 水抜きをする

(長期間不在の場合、または非常に冷えこみの厳しいとき。)

- 1 ガス元栓を閉める。
- 2 給水元栓を閉める。
- 3 水抜き栓を開ける。(2カ所) 給湯栓
- 4 給湯栓を開ける。
- 5 シャワーを床面まで下げる。



凍結予防のしかた

水抜き後の使用方法

- ①水抜き栓を閉める。(2ヵ所)
- ↓
- ②給水元栓を開ける。
- ↓
- ③給湯栓から水が出ることを確認し給湯栓を閉める。
- ↓
- ④ガス元栓を開ける。
- ↓
- ⑤8ページの「使用方法」に従ってお使いください。

凍結して水が出ないとき

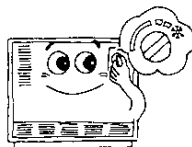
- ①ガス元栓を開める。
- ↓
- ②給水元栓を開める。
- ↓
- ③給湯栓を開ける。
- ↓
- ④水が出るまで待つ。
(時々給水元栓を開けて確認する)
- ↓
- ⑤凍結がとけたあと水漏れがないか確認し使用を開始する。

暖房

- 冬期外気温が0℃近くになりますと熱源機や温水回路内の水が凍結し、破損することがありますので必ず不凍液を注入してください。
- さらに寒さが厳しいときは以下の操作をお願いします。

1 暖房スイッチを「切」にする。
…(別売のリモコン接続時)

2 すべての放熱器の運転スイッチを「※」にする。
外気温が下がってきますと自動的に循環ポンプが作動して凍結を予防します。



不凍液について

- 不凍液は大阪ガス指定のものをご使用ください。
- 1年に一度は暖房水全体を入れかえ不凍液を新たに注入してください。
- ご相談はお買い上げの販売店もしくは、大阪ガス支社までご連絡ください。

不凍液の取扱い

- 幼児の手の届くところに置かないでください。



凍結したとき

- 凍結した場合、ガス元栓・給水元栓を開めてください。凍結したまま使われますと熱源機に異常が生じる場合があります。
- 凍結が解けたあと、水漏れがないのを確認のうえご使用ください。
- 熱源機や配管が破損しますと、高額な修理費用がかかる場合があります。(有料)

点検・お手入れ

●点検・お手入れの際のご注意

- 点検・お手入れの前には、必ずガス元栓、給水元栓を閉じ、運転スイッチを「切」にして熱源機が冷えてから行なってください。
- 熱源機の前面などは、はずさないでください。
(熱源機及びリモコンは絶対に分解しないでください。)

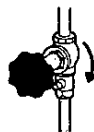
●点検

- 熱源機の上や近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものをおいていませんか？
- 排気口や給気口をふさいでいませんか？

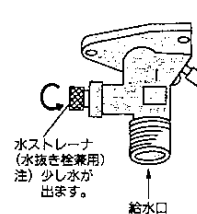
●お手入れの方法

- 水ストレーナの掃除は、次の要領で行なってください。

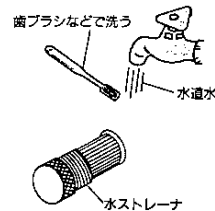
1. 給水元栓を閉める



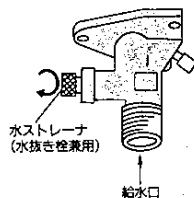
2. 給水接続口にある水ストレーナをはずす



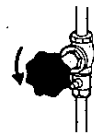
3. 水ストレーナを洗う



4. 水ストレーナをもとにもどす



5. 給水元栓を開ける



点検・お手入れ

■ 本体が汚れたときは？

布または、スポンジに
台所用洗剤(中性洗剤)
をつけて、ふき取る。



■ リモコン(別売品)が汚れたときは？

水をつけた布をかたく絞り、
軽くふき取る。

内部は、電気部
品が入っている
ので絶対にぬら
さない。



● 点検・お手入れ後の確認

● 点検・お手入れの後は、ガス元栓を開いて、運転スイッチを「入」にして給湯栓を開き、熱源機が正
常に作動していることを確認してください。

万一、異常な燃焼・臭気・異常音を感じられたときは、使用を中止し、ガス元栓を開けてお買い上げ
の販売店または、お近くの大阪ガス支社へご連絡ください。

● 定期点検のおすすめ

● ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長
くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。
お買い上げの販売店またはお近くの大阪ガス支社にご相談ください。

● 熱源機が古くなると熱交換器やバーナにサビやスス、ほこり等が
まったりします。また取り付け場所によりバーナに「くも」が巣
をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起こすことが
あり、ときどきご使用中に異常(異常音、排気に不快な臭い、目にし
みる等)がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガスの元栓を閉めて
お買い上げの販売店またはお近くの大阪ガス支社にご連絡ください。



故障かな？と思ったら

1 停電・断水・ガスの供給が停止した時

	停 電	断 水	ガスの供給停止
給湯・シャワー	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転は停止しますが、水は出続けます。 ● 給湯栓を閉じてください。 〈通電後〉 ● 使用方法(8ページ参照)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転は停止します。 ● 給湯栓を閉じてください。 ● 給湯スイッチを「切」にしてください。(別売りリモコン接続時) 〈再通水後〉 ● 使用方法(8ページ参照)によりご使用ください。 	<p>〈供給停止〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転は停止しますが、水は出続けます。 ● 給湯栓を閉じてください。 ● 給湯スイッチを「切」にしてください。(別売りリモコン接続時) 〈供給再開後〉 ● 使用方法(8ページ参照)によりご使用ください。
暖房	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転は停止します。 ● すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 〈通電後〉 ● 使用方法(11ページ参照)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通常は正常運転します。 ● エラーコード543が点滅し、運転が停止する場合があります。その場合は、お近くの大阪ガス支社に連絡してください。 	<p>〈供給停止〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転は停止します。 ● すべての放熱器の運転スイッチ、暖房スイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ● 使用方法(11ページ参照)によりご使用ください。

2 次のような場合は故障ではありません。

現 象	説 明
寒い日に排気口から湯気がでる。	排気ガスの水分が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。
給湯停止後もファンの回転音がある。	再使用時の点火をより早くするため約5分間は回転しています。
給湯栓を絞るとお湯が白くなる。	水の中の空気が分離して気ほうとなるためです。
長時間給湯を使っていると火が消える。	給湯を90分間連続して使うと自動的に火が消えるようになっています。
給湯栓を急に止めるとゴツンと音があることがある。	給水パイプに逆止弁を取り付けると、音がある場合がありますが、水が急に止まるために発生する音で異常ではありません。

故障かな?と思ったら

3 故障・異常の見分け方・処置方法

ご使用中に、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止され、十分な点検をしてください。

原因 ●=主原因 △=原因	処置方法						
	給湯栓を開けても湯が出ない	使用中に水になる	高温の湯が出ない	使用中に湯温が極端に変動する	燃焼ランプまたは(点)が点灯しない	暖房がきかない、またはききがおそい	
ブレーカが「入」になっていない	●				●	●	ブレーカを「入」にする
ガス元栓の開き不十分	△	△	●	△	△	△	ガス元栓を全開にする
配管内に空気が残っている	△	△			△		点火操作をくり返す
給水元栓の開き不十分	●	△		△			給湯栓をいったん閉めてから給水元栓を全開にする
水ストレーナの詰まり	△	△		△			詰まり除去または点検を依頼する
断水している	●						使用をいったん中止する
凍結している	●						解冻するまで使用を中止する
給湯栓の開き不足	△	△		△			給湯栓を全開にする

4 エラーコード表示について (別売のリモコン接続時)

この熱源機には、不具合が生じたときにその原因をエラーコードで知らせる機能があります。下表のエラーコードの表示に応じた処置を行ってください。

表示	原因	処置方法
001	給湯を連続90分以上運転したためです。	給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
111	給湯側の点火エラーが生じたためです。	ガス元栓が全開であることを確認後、給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
721	給湯側の回路に異常がおきたためです。	
113	暖房側の点火エラーが生じたためです。	ガス元栓が全開であることを確認後、すべての放熱器の運転スイッチまたは暖房スイッチをいったん「切」にし、しばらく待ってから「入」にしてください。
723	暖房側の回路に異常がおきたためです。	

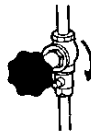
上記以外の表示がでる場合は、ランプが点灯しているスイッチをいったん「切」にして再操作してください。

再操作しても同じ表示がでる場合は、ブレーカを切り替えて、お買い上げの販売店へ連絡。

●安全装置が作動したときの処置方法

●点火しなかったり、ご使用中にバーナが消火したときは、17~18ページの「故障かな?と思ったら」に従ってください。
また、次の安全装置が働いた場合には、操作スイッチを「切」にし、ガス元栓・給水元栓を閉めてから、お買い上げの販売店またはお近くの大阪ガス支社にご連絡ください。

1 給水元栓を閉める



2 ガス元栓を閉める



3 お買い上げの販売店または大阪ガス支社へ



連絡

●下記の異常時には、安全装置が働きます

- 給湯バーナの炎が消えた場合.....給湯立消え安全装置
- 暖房バーナの炎が消えた場合.....暖房立消え安全装置
- 暖房回路の水が万一極端に減った場合.....空だき防止装置(暖房)
- 空だきした場合.....空だき安全装置(給湯・暖房)
- 熱源機の温度が異常に上昇した場合.....過熱防止装置
- 電気回路に漏電が生じた場合.....漏電安全装置
- 過電流が流れた場合.....電流ヒューズ
- 熱源機内の水圧が異常に上昇した場合.....過圧防止安全装置

故障かな?と思ったら

仕 様

機 種 名		ガ ス 給 湯 暖 房 機	
型 式 名	AD-362RFA-L, C, D, E		AD-362FFA-L
品 番	44-905, 906, 907, 908		44-909
種 類	給 湯 方 式	先止め式	
	暖 房 方 式	温水循環方式	
	給 排 気 方 式	屋外強制排気方式	強制給排気方式
設 置 方 式	屋外設置方式		屋内設置方式
着 火 方 式	給 湯 ・ 暖 房	ダイレクト着火	
外 形 寸 法	本 体	高さ750mm × 幅480mm × 奥行255mm	高さ750mm × 幅480mm × 奥行300mm
重 量	本 体	47kg	43kg
水 圧	使 用 水 圧	1kg/cm ² 以上	
	作 動 水 圧	0.15kg/cm ²	
最 低 給 湯	2.0ℓ/分		
作 動 水 量	暖 房	0ℓ/分以上(給切り使用可)	
ポンプ排水量	暖 房	7.0m ³ H ₂ O (5ℓ/分のとき)	
温 度 制 御 方 式	給 湯	電子式ガス比例制御方式	
	暖 房	電子式ガス比例制御およびOFF制御方式	
温 度 調 節	給 湯	リモコンなし	約60℃定温
	湯	リモコン(別売品あり)	約38℃～約47℃(1℃間隔)、約60℃、約75℃
	暖 房		約80℃(自動変温システム約80℃～約70℃～約65℃)
給 湯 量 制 御 方 式	水量比例制御方式		
排 気 フ ァ ン 制 御 方 式	給 湯	負荷による比例制御	
	暖 房	負荷による比例制御	
	同 時	負荷による比例制御	
安 全 装 置	給湯立消え安全装置・暖房立消え安全装置・空だき防止装置 空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧防止安全装置 停電時安全装置・ファン回転検知装置・凍結予防ヒータ 水量センサー・誘導電保護装置・漏電安全装置		
消 費 電 力	44-905: 165W, 44-906, 907, 908, 909: 185W 凍結予防運転動作時: 195W		
接 続	ガ ス	R $\frac{3}{4}$ オネジ(20A)	
	給 水 ・ 給 湯	20A ソルダークランプ付属(G $\frac{3}{4}$)	
	暖 房	15A ソルダークランプ付属(G $\frac{3}{4}$)	
	オ ー バ フ ロー	R $\frac{1}{2}$ オネジ(15A)	
	電 気	本体電源 AC100V 60Hz 3心(うち1心アース用)	
給 排 気 接 続 口		給気口φ100・排気口φ100 最大延長7m4曲り	
B L 品 番	AD-362RFA-L		AD-362FFA-L

使用ガス	使用ガスグループ	型 式 名	1時間当たりのガス消費量(kcal/h)				標準出力(kcal/t)	
			全ガス消費量	給湯ガス消費量		暖房ガス消費量	能力最大時	
				最 大	最 小		給 湯	暖 房
都市ガス用	13A	AD-362RFA-L AD-362RFA-L-C AD-362RFA-L-D AD-362RFA-L-E	59,800	45,000	4,700	15,000	36,000 (24号)	12,000
L P ガス用		AD-362FFA-L	4.75 kg/h	3.65 kg/h	0.39 kg/h	1.19 kg/h	36,000 (24号)	12,000
			都市ガス用13A			L P ガス用		
出湯能力(ℓ/min) (能力大)			水温+25℃上昇		(24.0)			
〔水圧: 1kgℓ/cm ² 時〕			水温+40℃上昇		15.0			

●給湯能力の()内は、水温+25℃上昇に換算した相当出湯能力です。

●長期間使用しない場合

- 必ずガス元栓、給水元栓を開き、各リモコン(別売品)および放熱器のすべてのスイッチを「切」にし、分電盤のブレーカを「切」にして、凍結予防の処置を行ってください。

●サービスのお申し込み

- 17～19ページの「故障かな?と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで買い上げの販売店または、大阪ガス支社にご連絡ください。なおご連絡いただくときは次のことをお知らせください。

- (1)品 名……ガス給湯暖房機 エックスMARK II
- (2)品 番……正面右下部に貼付してあります。
- (3)現 象……できるだけ詳しく(別売品のリモコン
接続時は、エラーコードの数字)
- (4)お客様名・住所・電話番号・道順

(N)44-905(U)
大阪ガス株式会社
744 905 09
(AD-362RFA-L)

●転居される場合

- ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、買い上げの販売店、またはお近くの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

●保証書について

この熱源機には保証書がついています。

- このガス給湯暖房機は保証書に記載のように、熱源機の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。